

ほかにこんなことが決まりました

報告	平成 28 年度養老町一般会計繰越明許費繰越計算書	内容	繰越明許費の合計 (主な繰越明許費の内訳) 個人番号カード交付事業 238 万 2,000 円 臨時福祉給付金(経済対策分) 給付事業 4,906 万 7,000 円 ケアホーム等整備事業 818 万 5,000 円 社会資本整備総合交付金事業 4,076 万 2,000 円 スマートインターチェンジ建設事業 2,347 万 1,000 円 次世代育成支援・女性活躍推進拠点創出事業 2,980 万円 1 億 5,696 万 8,000 円	
報告	平成 28 年度養老町一般会計事故繰越し繰越計算書	内容	ふるさと学習推進事業 379 万 2,571 円 テキストで使用する図版及び写真等の著作権確認作業に予定以上の時間がかかり、契約期間内の納品が困難となり繰越すもの	
報告	平成 28 年度養老町介護保険事業特別会計繰越明許費繰越計算書	内容	介護基盤緊急整備特別対策事業 1 億 1,740 万円	
議案	養老町税条例等の一部を改正する条例	内容	附則第 2 条の 4 第 1 項中「控除対象配偶者」を「同一生計配偶者」に改めるもの	採決 賛成全員で可決
議案	養老町地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部を改正する条例	内容	主任介護支援専門員に更新制を導入し、更新時において新たに研修を創設するなどを内容とする介護保険法施行規則が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
同意	養老町農業委員会委員の任命同意	内容	中村 辰夫(高田)、平井 金吾(烏江)、高木 敬子(上方)、 澁谷 幸男(桜井)、若山 勝行(岩道)、伊藤 政幸(飯ノ木)、 高木 征雄(小倉)、間山 博之(一色)、山田 常夫(大巻)、 森川 保男(瑞穂)、安立 正行(大巻)、小野 和孝(下笠)、 西脇 康(船附)、高橋 敏央(栗笠)、安福 正紀(祖父江)、 大橋 誠(金屋)、木村 五貴(橋爪)、日比野 守(豊)、 田中 清美(室原)	採決 賛成全員で可決
議案	東部町民体育館耐震・大規模改修工事請負契約の締結	内容	契約方法 指名競争入札 契約金額 2 億 3,220 万円 契約相手方 養老郡養老町大巻 4590 番地 (株)大橋組 工事概要 耐震補強、屋根改修、外壁改修、内装改修、 便所改修、電気・機械設備改修工事 等	採決 賛成全員で可決
議案	物件供給契約の締結(消防施設(水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型)整備事業)	内容	契約方法 指名競争入札 契約金額 5,940 万円 契約相手方 岐阜市本郷町 4 丁目 2 番地 (株)三陽商会 岐阜営業所 物件概要 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	採決 賛成全員で可決
認定	平成 28 年度養老町上水道事業会計決算の認定	内容	詳細は、産業建設委員会報告に(P4 参照)	採決 賛成全員で認定
議案	平成 29 年度養老町一般会計補正予算(第 1 号)	内容	2,872 万 2,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を 110 億 2,672 万 2,000 円とする (主な増減の内訳) 改良住宅譲渡推進事業 2,278 万 2,000 円 笠郷小学校空調施設整備事業 141 万 5,000 円 養老公民館及び養老自治会館移転事業 753 万 6,000 円 社会資本整備総合交付金事業 341 万 9,000 円	採決 賛成全員で可決
議案	平成 29 年度養老町上水道事業会計補正予算(第 1 号)	内容	節科目の新設を行うもので、予算額の変更なし	採決 賛成全員で可決
議案	平成 29 年度養老町後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)	内容	77 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を 3 億 1,217 万円とする (主な増減の内訳) 償還金及び還付加算金 47 万 9,000 円	採決 賛成全員で可決
議案	議員派遣	内容	市町村議会議員特別セミナー 派遣場所 全国市町村国際文化研修所 派遣期間 平成 29 年 8 月 3 日～2 日間 派遣議員 早崎百合子、水谷久美子、林 輝見、田中敏弘、 三田 正敏、長澤 龍夫、北倉 義博	採決 賛成全員で可決

※繰越明許費とは、事業の性質上や予算成立後の事由により年度内に支出を終わらない見込みのものを、限度額を定めて翌年度に限り繰り越すこと。
※事故繰越しとは、年度内に支出負担行為を行い、避けがたい事故のために年度内に支出が終わらなかったものを翌年度に繰り越して使用すること。

総務民生委員会へ付託された議案

養老町税条例の一部改正	一般会計補正予算(第 1 号)
問 控除対象配偶者を同一生計配偶者に改めることについて、対象者に変更はあるのか。	問 前年度繰越金 2 億 65 万 6 千円の詳細は。
答 変更はない。	答 補正する場合、一般財源が必要となるので、補正財源として留保している。詳細は歳入歳出様々な要素がからみあつて繰越金が生じている。
問 養老町地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例の一部改正	問 前年度繰越金が年々減少していることの見解は。
答 主任介護支援専門員更新研修等に伴う負担額は発生するの	答 財政厳しい中校り込んで予算計上をしているため。年度途中に大きな事業等が発生しないよう計画する必要があると認識している。

産業建設委員会へ付託された議案

平成 28 年度養老町上水道事業会計決算の認定	問 西小倉送水ポンプ場の土地について、道路用地購入で使用する単価を採用した詳細は。
答 従来道路用地購入単価は 1 筆を買ったのではなく道路部分のみ単価で購入する単価であり、今回の 1 筆購入した単価とは異なる。付近で他課の購入する土地の不動産鑑定額と比較して安かったため採用した。	問 西小倉簡易水道事業について、当初計画から変更はあったのか。
答 変更はない。	問 有収率の考え方は。
答 西小倉簡易水道事業について、平成 29 年 3 月 1 日からの供用開始している。約 150 戸ほどの申込があり、月に、1 件あたりおおむね、20 ㎡から 30 ㎡、3 千円から 4 千円くらいを見込んでいます。	問 西小倉簡易水道事業について、平成 29 年 3 月に工事がすべて完了したのか。また収入見込みは。
答 修繕費が 168 万円ほどで、前年度比 53・22% の増である。漏水調査と通報等による修繕箇所件数が前年度より 33 件増の 104 件であり、すみやかに修繕を行ったことが、有収率の向上につながったと考えている。	答 岩道西岩道 1 号線と蛇持角田線。社会資本整備総合交付金事業の対象地域は。



問 改良住宅譲渡推進事業の詳細な事業内容は。	答 委託料として 2 タイプの改良住宅耐震診断業務、及び分筆 78 戸分の用地測量。工事請負費として改良住宅の 2 棟 4 戸分解体工事費。
------------------------	--